

日本看護歴史學會 會報

日本看護
歴史学会
第42号
2004年6月15日

日本看護歴史学会第18回大会開催にあたって
大会長 岡崎寿美子(北里大学看護学部)

木々の緑が冴えわたる季節となりました。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。時の経つのは早いもので、昨年の大会に引き続き今年度大会についてお知らせする時期となりました。伝統ある日本看護歴史学会第18回大会は、来る8月25(水)、26日(木)に神奈川県相模原市にごぞいます北里大学相模原校舎L3号館にて開催させていただきますことになりました。時期的には暑い盛りを過ぎた残暑の候になるかと思いますが、企画・実行委員とともども皆様のご期待に添うよう準備しておりますので、是非とも多くの方々にご参加いただきたくここにご案内申しあげます。

相模原市は人口約65万人の文化都市でございます。みどりが大変多く、大学も数校ありまして学生の多い、また、住民の年齢層も比較的若い町であります。横浜線や小田急線が主要鉄道路線で東京や横浜に近く、西に国立公園箱根や伊豆を、南に歴史の町鎌倉を控えた地にあります。

さて、第18回大会についてですが、大会テーマを「歴史に学ぶ・歴史を創る」に決定させていただきました。私どもは古きについて尋ね探ることで多くを学ぶことができます。史実にはその時代そこに関係された先人達のいろいろな考えのもと歴史は創られ脈々と続いていくものと考えられます。また、少し視点を変えてみるとまったくと異なるといっていいほど異なる状況や考えが発掘されて真実がみえてくることさえあるかと思えます。ここに歴史を学ぶおもしろさがあるのかもしれませんが。歴史を学ぶことの大切さと、一方、その歴史のひとこまひとこまに私どもは参画し歴史を創って行っていることも事実ですから、このことも意識する必要があるかと考えます。このようなことから本大会のテーマが決まりました。これらは「パネルディスカッション—オーラルヒストリー：看護歴史研究の一方法」を通し堪能いた



けるものと思います。別所智枝子氏、久常節子氏、山本捷子氏の3人のパネリストと座長の川島みどり氏に期待する所です。

特別講演は開催校にあやかりまして「北里柴三郎博士」について本大学名誉教授であり北里博士についてご造詣の深い中瀬安清氏にお願い致しました。北里博士はフローレンス・ナイチンゲール女史の誕生よりほぼ30年後の1853年に今の熊本県小国町に誕生されました。熊本医学校、東京医学校(現在の東京大学医学部)を卒業されドイツのロベルト・コッホ博士に師事し細菌学や免疫学を学ばれ後に数々の功績を積まれました。北里博士については知られているようで案外詳しくは知られていないのが現状のように思われますので、ちょうど昨年が北里博士の生誕150年でしたので、これを機に是非ともご理解いただきたいと存じます。本大会誌の抄録冊子には博士の業績を掲載し、講演では北里博士の哲学、①医道論、②患者サービス、③ベスト患者の看護、④土筆ヶ岡養生院(我が国最初の結核サナトリウム)での食事メニューやハンセン病院設立(熊本)などについてお話しいただく予定です。筆者はちょうど時代が我が国の看護にとっての黎明期にあることから、その当時北里博士は看護学についてどのようなお考えであったかについてご紹介させていただきます。

交流セッション(今までは分科会と言っておりました)では以下のことを予定しております。

「戦中・戦後の体験を語る」では、厚生省看護課長であられました金子光氏と聖路加看護大学名誉教授の高橋シュン氏に、一番の体験やご苦労を語っていただきます。両先生は齢を重ねておいででございますがご健康でありますので幸運にもこのような機会を持つことができ、本大会をいっそう盛り上げていただけるものと存じます。

「男性看護師の組織化の歴史」では、昨年の青森大会での発表に続いて山崎裕二氏、床島正志氏、小池武嗣氏の3人がそれぞれのテーマで展開されます。男性看護師の多くが参加されて盛り上がるものと思えます。

「看護制度の変遷—戦前と戦後」では平尾真智子氏と田中幸子氏の両氏が担当されます。当時の状況や法律を踏まえながら看護制度の変遷について展開されますのでご期待ください。これら交流セッションの時間は2時間を予定しておりますので、討議なら

びに多くの知見が得られるものと思います。

一般演題は昨年同様の演題数の応募をいただき口演、示説ともに14題です。応募ありがとうございました。口演は2群として各5題、示説が4題の予定です。テーマならびに発表者につきましては下記の案内をご覧ください。

このような計画のもとに今準備を進めている最中でございます。お一人でも多く方にご参加いただき本大会が実りあるものになりますようご協力を心よりお待ちしております。

日本看護歴史学会第18回大会プログラム
大会テーマ：歴史に学ぶ・歴史を創る
場所：北里大学相模原キャンパスL3号館

—第1日目 8月25日(水)—

- 12:00 受付開始
13:00 開会 会長挨拶 岡崎寿美子
13:20 特別講演「北里柴三郎博士」
講師：中瀬安清（北里大学名誉教授）
座長：藤村龍子（東海大学健康科学部教授）
15:00 パネルディスカッション
「オーラルヒストリー：看護歴史学研究の
一方法」
パネリスト：
別所智枝子（作家・べっしょちえこ）
久常節子（慶應義塾大学看護医療学部教授）
山本捷子（日本赤十字九州国際看護大学教授）
座長：川島みどり（日本赤十字看護大学教授）
17:30 懇親会：北里大学病院8F展望レストラン
「フォレスト」

—第2日目 8月26日(木)—

- 9:30 受付開始
10:00 交流セッション
1. 戦中・戦後の体験を語る
—厚生省課長時代 金子光（元厚生省看護課長、元衆議院議員）
—マニラから東京看護教育模範看護学院時代まで 高橋シュン（聖路加看護大学名誉教授）
司会：ライダー島崎玲子（青森県立保健大学）、大石杉乃（東京慈恵会医科大学）
2. 男性看護者の組織化の歴史
「全日本看護人協会を中心に」…山崎裕二（日本赤十字武蔵野短期大学）
「九州管内国立病院看護士長会」の結成と活動の歩み…床島正志（前社団法人福岡県看護協会）
「日本男性看護師会」・インターネットを利用したネットワークの可能性と今後の展望」…小池武嗣（新潟大学）
司会…川村亨、劔持功（東海大学医学部付属病院）
3. 看護制度の変遷—戦前と戦後—
「日本の看護制度の成立—戦前の看護婦界に君臨した「看護婦規則」…平尾真智子（東京慈恵会医科大学）
「保健婦助産婦看護婦法の制定をめぐって」…田中幸子（北里大学）
司会…岡山寧子（京都府立医科大学）

北里柴三郎記念室のご案内

開室日時：月曜日～木曜日 午前10時～午後3時
休室日：祝祭日 北里研究所創立記念日（11月5日）
年未年始
場所：〒108-8462 東京都港区白金5-9-1
社団法人 北里研究所 北里本館1階
問い合わせ先：Tel 03-5791-6103, 6102
e-mail: kitasato-museum@kitasato.or.jp
博士に因む資料が豊富に展示されております。

- 12:00 昼食
12:30 総会
13:30 一般演題（口演・示説）
15:30 次期大会長挨拶 閉会

一般演題（口演）第1会場

- 「近江療養院における結核患者の療養空間」：小倉之子（島根大学）
- 「青森県の地域母子保健における助産婦活動の歴史—東通村を中心とする地域助産婦活動の意義—」：宮川奈津子（青森県立保健大学大学院）
- 「医学系学生団体と看護学生」：坪田康佑（慶應義塾大学）
- 「石川県立高松病院における看護史—時代的背景と精神科看護師のエピソード」：竹内幸治（石川県立高松病院）
- 「戦前の日本赤十字社救護員の点呼召集について—ジェンダーの視点から見えてくるもの—」：山崎裕二（日本赤十字武蔵野短期大学）
座長：芳賀佐和子（東京慈恵会医科大学）

一般演題（口演）第2会場

- 「日本保健婦協会の組織変容」：川上裕子（お茶の水女子大学大学院）
- 「埼玉県における看護教育制度の研究」第1報—埼玉県における看護婦養成開始期：明治初期～大正3年—」：仲島愛子（つくば国際短期大学）
- 「埼玉県における看護教育制度の研究」第2報—GHQ指導の看護学校改革過程—」：仲島愛子（つくば国際短期大学）
- 「戦後看護教育時間数の変化とその影響に関する検討」：佐々木秀美（呉大学）
- 「パイオニアとして歩んだ看護職のライフコース—新看護制度初期の教育を受けた看護職者の人生の転機分析—」：西村あをい（順天堂医療短期大学）
座長：高橋みや子（山形大学）

一般演題（示説）第3会場

- 「京都看病婦学校における創設から10年間の学校規則の変遷」：依田和美
- 「『看護の栞』（『Notes on Nursing』の初全訳書）研究—「病気」、「看護」概念の考察—」：後藤啓子（帝京高等看護学院）
- 「神奈川県における産婆養成—酒井助産婦学校の事例を中心に—」：小川景子（東海大学医療技術短期大学）
- 「ベタニア修道女会の看護活動」：寺本恵（社会福祉法人慈生会病院）
座長：小田正枝（西南女学院大学）

<参加費>

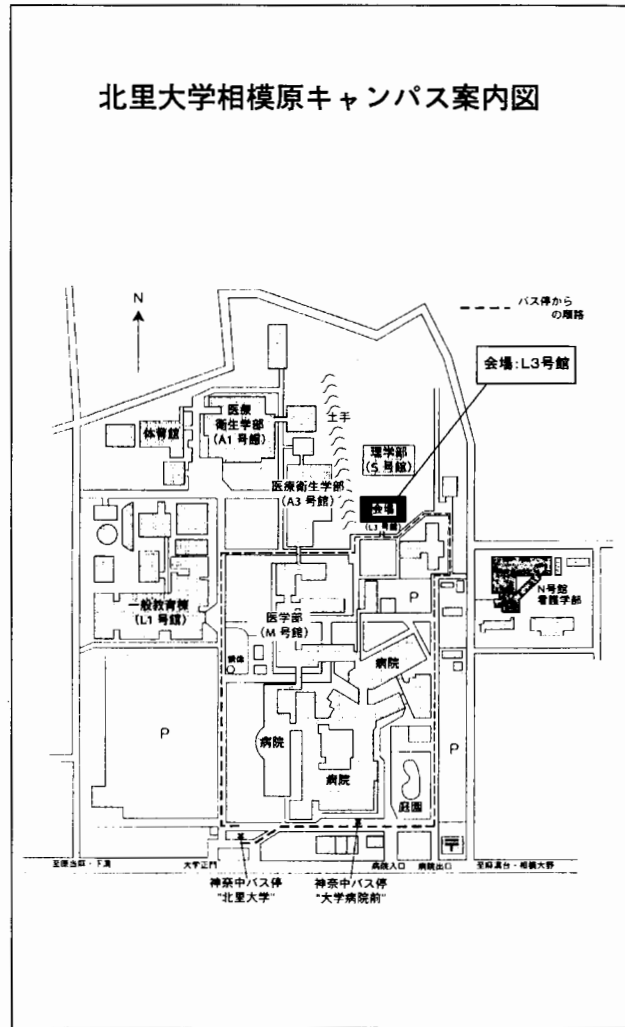
- 会 員：5,000円（8月18日まで）6,000円（当日申込み）
- 非会員：6,000円（8月18日まで）7,000円（当日申込み）
- 学生（学部生のみ）：1,000円（事前・当日申込み）
- 懇親会：3,000円

<連絡先>

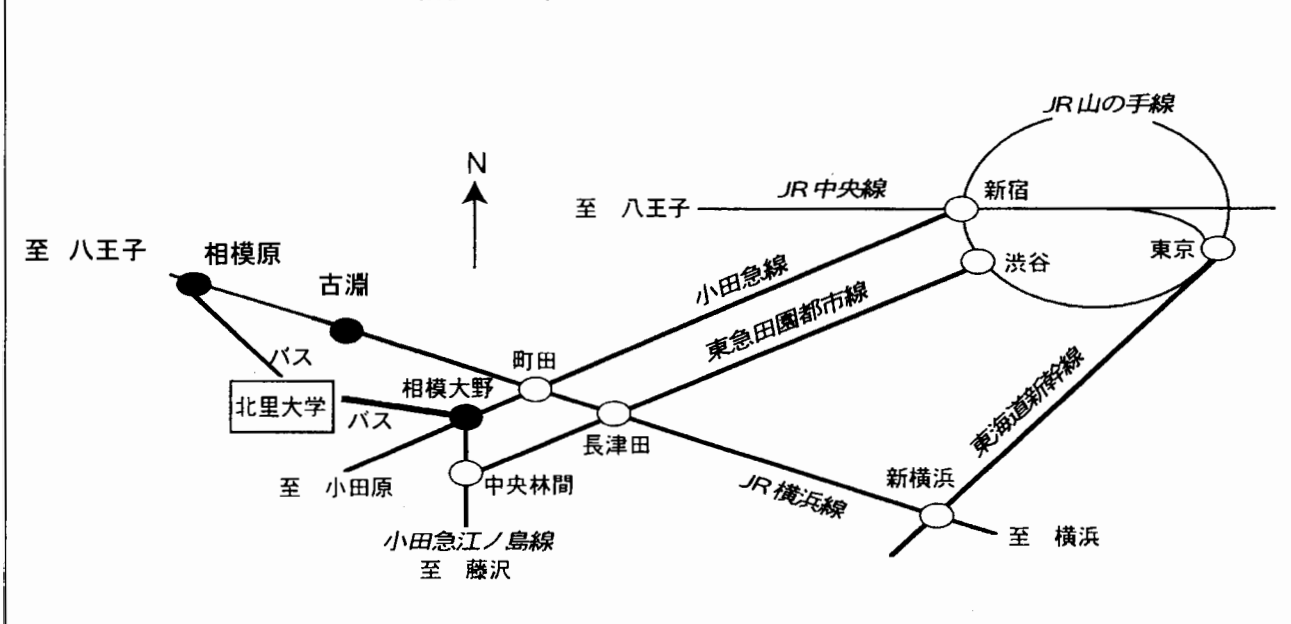
大会事務局：〒228-0829
 神奈川県相模原市北里2-1-1
 北里大学看護学部 基礎看護学研究室内
 日本看護歴史学会第18回大会事務局
 TEL・FAX 042-778-9432
 e-mail: rekishi-18@nrs.kitasato-u.ac.jp

<最寄り駅から相模原キャンパスへの交通路>

- 1) 小田急線 相模大野駅より：
 小田急線相模大野駅下車（新宿から急行40分）
 相模大野駅バス停よりバスを利用（乗車時間20～30分、北里大学下車）
 【バス1番乗車】北里大学病院行・昭和橋経由上溝行・北里大学経由相模原駅南口行
 【バス2番乗車】古山経由相模原駅南口行
- 2) JR線 相模原駅より：JR 相模原駅バス停よりバスを利用（乗車時間25～35分、北里大学下車）
 【バス2番乗車】北里大学行・北里大学経由小田急相模原行・相武台駅前行
- 3) JR線・古淵駅より：JR 古淵駅バス停よりバスを利用（乗車時間20～30分、北里大学下車）北里大学病院行



相模原キャンパスまでの交通案内図



日本看護歴史学会大会事務局リレー その1

大会事務局を終えての所感

青森県立保健大学 福井幸子

ここ青森の霊峰八甲田山は、冬化粧も美しいのですが、頂きに残雪が映える春も格別です。車中から美しい八甲田山を眺めていますと、大会講演集表紙の写真撮影を思い出します。少しでも経費削減にと、事務局2人でカメラを片手に被写体に語りかけながら撮ったものです。第17回日本看護歴史学会の事務局を預からせていただいた私共にとっては初めての学会であったため四苦八苦でしたが、第16回大会事務局や学会事務局の皆様を支えられ、盛会のもと終了することができました。この場をお借りしましてお礼を申し上げます。本大会開催の前年には状況を知ろうと初めて大会に参加しましたが、この時歴史の専門家達からなる真に学究的な学会であるという印象を強く持ちました。歴史の中の1年をとっても、意義や重み付けなどが、年号を暗記するばかりの私とは全く異なるばかりか、日本にとどまらず世界の看護史にも及ぶ知見の広さと深さに感銘しました。

この学会の特長を失うことなく、かつ大会参加者を増やすことを目標に大会はじめ企画委員の先生方共々プログラムの作成や広報活動において苦心いたしました。学会からの借入金は、特に最初に実施した広報活動を進めていく上で必要不可欠なものでした。青森県からも30万円の助成金を頂き、会員以外の講師による招聘講演や借入金返済ができましたが、学会からの借入金の返済が不要になった現在においても、やはりなんといっても参加者による支援は絶大です。北里大学で開催される第18回大会でも多くの方々からのご理解やご支援を得られ、盛会となりますことを祈念いたします。



幹事会からのお知らせ

日本看護歴史学会第17回大会総会でお知らせしましたように、幹事会では本学会の会則改正作業を進めています。曖昧だった部分を、学術集会に相応しい内容と表現にしようとして検討しています。

主な改正(案)部分は以下の通りです。

- ① 英文名を名称変更する。
- ② 幹事を理事、大会を学術集会に名称変更する。
- ③ 学会運営を監査する監事を置く。
- ④ 会員資格など曖昧な部分を成文化する。
- ⑤ 総会開催および議事承認要件を追加する。

総会は第18回大会第1日目 8月25日(水)

12時30分から開催し、会則改正についても審議します。

多くの会員が参加されることを希望します。

編集後記

発行が遅れ気味の会報を、第18回大会の前にゆとりをもって発行したいと思っていました。皆さまのご協力のもとにどうかその希望が実現できました。(す)

新入会員紹介

()内は会員番号

岩切 桂子 (03-029)	藤村真希子 (04-001)
[日本看護連盟]	長澤 利枝 (04-002)
中信利恵子 (03-030)	[静岡県立短期大学部]
[日本赤十字広島看護大学]	高嶋 純子 (04-003)
川西 美佐 (03-031)	林 美鳥 (04-004)
[日本赤十字広島看護大学]	床島 正志 (04-005)
滝口 成美 (03-032)	猪又 克子 (04-006)
[日本赤十字広島看護大学]	[北里大学看護学部]
植田喜久子 (03-033)	岩永 秀子 (04-007)
[日本赤十字広島看護大学]	[東海大学健康科学部]
斎藤 圭 (03-034)	城戸 滋里 (04-008)
佐藤 雅子 (03-035)	[北里大学看護学部]
小川 景子 (03-036)	角井都美子 (04-009)
竹内 幸治 (03-037)	夏目美貴子 (04-010)
宮川奈津子 (03-038)	[北里大学看護学部]
西村あをい (03-039)	西村 晶子 (04-011)
[順天堂医療短期大学]	[慈生会病院]

会費納入のお願い

2004年度の会費(4000円)を同封の振込用紙で納入してください。本学会は、皆さまからの会費収入で運営しております。ご協力をお願いいたします。

なお、会則6条の規程により、会員の資格を失うこととなりますので、ご留意ください。

事務局からのお願い

第18回大会は北里大学で開催しますが、大会事務局は学会事務局と組織が異なります。くれぐれも大会参加費と年会費の納入を混同されませんようにお願いいたします。

《郵便振替》

大会事務局

加入者名 日本看護歴史学会第18回大会

口座番号 00240-8-58718

学会事務局

加入者名 日本看護歴史学会

口座番号 01010-1-52185

e-mail nhistory-gakkai@umin.ac.jp

日本看護歴史学会会報 第42号

企画・編集 藤村龍子(東海大学健康科学部)

大石杉乃(東京慈恵会医科大学)

発行責任者 田中幸子

事務局 〒228-0829

神奈川県相模原市北里2-1-1

北里大学看護学部 田中幸子

Tel&Fax 042-778-9826

e-mail nhistory-gakkai@umin.ac.jp